

# 株主の皆様へ

## 第74期中間報告書

〈2021年1月1日～2021年6月30日〉



# 株主の皆様へ



## 目次

株主の皆様へ	1
経営基本方針、 21世紀のヤマザキの経営方針	2
事業の概要	3
セグメント別の状況	5
製品情報	9
社会貢献への取組み	11
財務諸表（連結）	13
財務諸表（単体）	15
YAMAZAKIインフォメーション	16
株式の状況等	17
グループ概要	18
株主メモ	裏表紙

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。さて、ここに当社グループ第74期事業年度の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申しあげます。

当第2四半期（2021年1月1日から2021年6月30日まで）におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く厳しい経営環境となりました。コロナワクチンの接種が進んでおりますが、変異株の感染拡大もあり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループでは、緊急事態においてパン、和菓子、洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの使命に従い、新型コロナウイルス感染拡大の中で製品の安定供給体制を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員を対象として、マスクの着用や手指の消毒など日常的な感染防止対策に加え、37.2℃以上の発熱がある者や、発熱がない場合でも体調異常の自覚症状がある者は自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理してまいりました。さらに、炭酸ガス濃度測定器によって、常時職場内の炭酸ガス濃度を700ppm以下に保ち、また従業員のワクチン職域接種を推進するなど感染防止対策の徹底につとめてまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、昨年9月から開始した新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、ルヴァン種等を活用した品質向上や女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するなど、各部門毎の業績向上をめざしました。

また、業績向上対策として「小売事業業績改善プロジェクト」を立ち上げ、デイリーヤマザキを始めヴィ・ド・フランスなど小売事業に「日次管理・週次決算」の経営手法を徹底し、小売事業のあるべき姿を追求するとともに、小売事業本部内に戦略製品・戦略商品開発推進チームを設置し、ヤマザキの技術を最大限に活用し業績改善をめざした戦略製品の開発の取組みを開始したところであります。

当第2四半期の業績につきましては、洋菓子が昨年に続き好調に推移したことに加え、菓子パンの売上回復や子会社の製菓事業の寄与もあり、増収増益となりました。

下半期につきましては、主原料の小麦粉や油脂、卵、糖類など原料価格が高騰し、収益への影響が懸念されますが、製品規格や製品価格の改定を含め、高品質・高付加価値製品の開発に取り組むなど、あらゆる施策によって対応してまいります。

今後、当社グループ一丸となって、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進するとともに、小売事業のあるべき姿を追求し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組み、更なる業績の向上を期してまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます次第でございます。

2021年8月

代表取締役社長

飯島延浩

# 経営基本方針

## 綱領

- (1) わが社は、企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、個人の尊厳と自由平等の原理に基づき、いのちの道の教えの言葉に従い、困難に屈することのない勇氣と忍耐とによって、神のみこころにかなう永続する事業の実現を期すこと。
- (2) われわれは、常に良きものへ向って絶えず進歩しつづけるため、各人が自由な決心に基づき、正しき道につき、断固として実行し、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進すること。

## 具体方針

21世紀のヤマザキは、新しいヤマザキの精神と新しいヤマザキの使命に導かれて、いのちの道の教えの言葉に従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する「部門別製品施策・営業戦略」、「小委員会によるなぜなぜ改善」を行ない、次の六つの具体方針の実践、実行、実証に邁進する。

- ① 最高の品質と最善のサービス(今日到達しうるベストオリティ・ベストサービスの実践、実行、実証)を目標とし、品質は今到達しうる最高のものであり、新鮮であること。それは製品、組織、仕事、工場、財産並びに設備のなかに表わさるべきこと。
- ② 充実した効率のよい積極的な組織体を作りあげ、そして維持拡充していくため、あらゆる可能の努力を注ぐこと。その組織体の人々は、会社を信頼し、仕事が喜びであり、普通ではできない仕事を完遂することが個人的な願望にまできていること。

- ③ 入手できる限りの、事業に独特な要求に適合した最善の設備と施設を備えること。  
この設備や施設の調達は、維持運営が経済的であることと会社の組織に最も仕事をしやすい道具を与えるという二つの観点から考えられること。
- ④ 産業界と一般社会との間に協力関係を創り出し、維持していくため、実行可能な一切のことを行なっていくこと。
- ⑤ 業務の遂行に関するすべての決定を行なうにあたって、常にその一件を処理する上での便宜よりも、事業全体にとって何が正しいか、何が最善であるかを中心に考えること。
- ⑥ 顧客に接するときは、常に公明正大で、かつ相手が何を欲しているかを十分に考慮すること。  
配達や品質やサービスについては、その成果が最優秀なものになるように努力すること。

## 21世紀のヤマザキの経営方針

当社は、21世紀の事業環境と社会の変化に対応するため、「企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進する」という顧客本位の精神で、潜在需要に着目しイノベーション(技術革新)によって需要を創造するという、前向き積極的なピーター・ドラッカー博士の経営理論に導かれる山崎製パン株式会社の「経営基本方針(綱領および具体方針)」を改めて高く掲げると同時に、これを補完するものとして、「日々、お取引先からご注文いただいた品は、どんな試練や困難に出会うことがあっても、良品廉価・顧客本位の精神でその品を製造し、お取引先を通してお客様に提供する」という、新しいヤマザキの精神に導かれ、科学的根拠の上に立った食品安全衛生管理体制の上に築き上げる科学的・合理的・効率的な事業経営手法として、生命の道の教えに従ったすべての仕事を種蒔きの仕事から開始する部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を実践、実行、実証することで、新しい価値と新しい需要

を創造し、社会の負託に応え社業を前進させることを21世紀のヤマザキの経営方針といたします。

事業経営の具体的遂行に当たっては、経営陣、管理職は、本物の5S・全員参加の5Sとピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「2本立ての5S」を行うとともに、生命の道の教えに従った部門別製品施策・営業戦略をピーター・ドラッカー博士の5つの質問と連動させ、「私たちの使命は何ですか」(What is our mission?)と問うだけでなく「私の使命は何ですか」(What is my mission?)と問い、生産部門・営業部門一体となった業務を推進するとともに、内部管理体制を充実・強化して、各部門毎の自主独立の協力体制を構築いたします。また、「良品廉価・顧客本位の精神で品質と製品、サービスをもって世に問う」というヤマザキの精神と「知恵と知識によって変化に挑戦し、新しい価値と新しい需要を創造する」という生命の道を導く言葉によって日々の仕事の実践、実行、実証に励み、業績の着実な向上を期してまいります。

## 当第2四半期における連結業績の概況

売上高 **5,122億10百万円** (対前年同期比 100.9%)

営業利益 **122億23百万円** (対前年同期比 123.9%)

経常利益 **137億53百万円** (対前年同期比 126.1%)

親会社株主に帰属する  
四半期純利益 **72億37百万円** (対前年同期比 147.7%)

## 当第2四半期の事業の概況

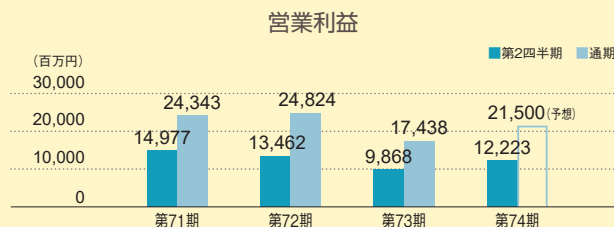
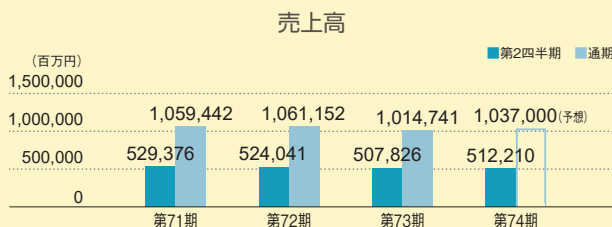
当第2四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が続く中で持ち直しの動きが見られましたものの、個人消費はサービス消費を中心に弱い動きとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下でプチ贅沢の動きなど消費行動が多様化し販売競争が激化する中で、卵や糖類、油脂などの原料価格の上昇もあり収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、外出自粛やテレワークの常態化の影響もあり売上が伸び悩む厳しい状況となりました。

このような情勢下にありまして、当社グループは、緊急事態においてパン・和洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの使命に従い、新型コ

ロウイルス感染拡大の中で製品の安定供給体制を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員を対象として検温を実施し、37.2℃以上の発熱がある者は自宅待機とし、また発熱がない場合でも倦怠感や味覚・嗅覚がない等の新型コロナウイルス独特の体調異常の自覚症状がある者も自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策に加え、WEB会議等を活用して事業所間の出張を制限するなど感染防止対策を徹底するとともに、多人数による会食の原則禁止など公衆衛生上の遵守事項を徹底しました。さらに、工場並びに事業所内の感染防止対策として炭酸ガス濃度測定器を導入して換気の悪い密閉空間の改善に取り組み、常時職場内の炭酸ガス濃度を測定して700ppm以下に保ち感染防止対策とするとともに、従業員向けに新型コロナワクチンの職域接種を実施することを推進し、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my missionの実践、実行、実証」の経営手法によって、ルヴァン種等を活用した品質向上や女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するとともに、高品質・高付加価値・高単価製品や健康志向対応製品の開発に取



り組むなど、各部門毎の業績向上をめざしました。また、長年業績不振で苦しんでいるヤマザキパンの小売事業であるデイリーヤマザキ事業を社長直轄とするとともに、日次管理・週次決算の経営手法をヤマザキパンの小売事業に有効に機能させるため小売事業業績改善プロジェクトを設置し、デイリーヤマザキやヴィ・ド・フランスを始めとする小売事業の抜本的な業績改善の取組みを開始しました。さらに、「いのちの道」の教えの言葉に従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求するため、小売事業本部内に戦略製品・戦略商品開発推進チームを設置し、ヤマザキの総力を挙げて自社業態の業績改善をめざした戦略製品の開発を推進する体制を構築しました。

[セグメント別の状況は5頁から8頁のとおりです。]

## 通期の見通し

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、新型コロナウイルスの接種が進み、景気は持ち直していくことが期待されますが、変異株の感染拡大が懸念され、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

当業界におきましては、お客様の節約志向が強まり販売競争が激しさを増す中で、主原料の小麦粉や油脂、卵、糖類など原料価格の高騰が見込まれており、収益が圧迫される厳しい経営環境になるものと予測されます。

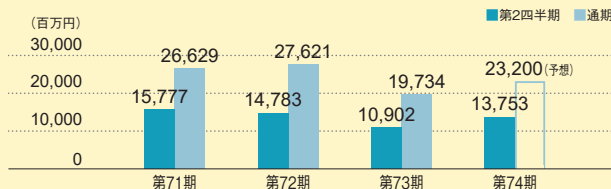
当社は、原料価格が高騰する状況が予測される中、引き続き高品質で安全・安心な製品を提供するため、製品規格、製品価格の改定を含めた検討を進めているところ

であります。さらに、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底につとめるとともに、「いのちの道」の教えの言葉に従う部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」とピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「our mission, my mission」の実践、実行、実証」の経営手法によって、製品の品質向上や女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するなど、各部門毎の新しい価値と新しい需要を創造して業績向上をめざしてまいります。また、デイリーヤマザキやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次決算を徹底し、戦略製品・戦略商品開発推進チームにより、「いのちの道」の教えの言葉に従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求してヤマザキパングループの総力を挙げた戦略製品の開発に取り組み、業績回復をめざしてまいります。

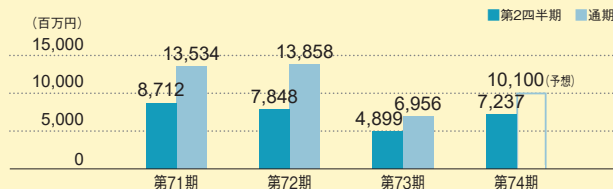
### 通期の連結業績見通し

売上高	<b>1兆370億円</b> (対前期比 102.2%)
営業利益	<b>215億円</b> (対前期比 123.3%)
経常利益	<b>232億円</b> (対前期比 117.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>101億円</b> (対前期比 145.2%)

経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益





## セグメント別の状況

### 食品事業

売上高 **4,799億17百万円** (対前年同期比 100.4%)

**93.7%**  
売上高構成比

### 食パン部門

売上高 **487億56百万円** (対前年同期比 95.1%)

**9.5%**

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」や「ダブルソフト」の拡販をはかるとともに、「超芳醇 塩分50%カット」などの健康志向対応製品や高級食パンを発売し取扱拡大をはかりましたが、前期の食パンの需要急増の反動もあり、前年同期の売上を下回りました。



ロイヤルブレッド



超芳醇



超芳醇ゴールド



ダブルソフト

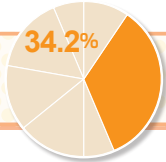
おいしい健康志向



超芳醇  
塩分50%カット



糖質ひかえめ  
ブレッド



**菓子パン部門 売上高1,749億29百万円** (対前年同期比 101.3%)

菓子パンは、主力の高級シリーズや「アップルパイ」が好調に推移するとともに、買い置き需要に対応した「ベイクワン」シリーズなど複数個入り製品が伸長しました。また、「フレンチクルーラー」などチルド菓子パンが伸長するとともに、新製品の「マリトッツォ」が寄与したこともあり、売上は前年同期を上回りました。



高級つぶあん



アップルパイ



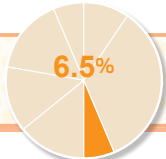
フレンチクルーラー



マリトッツォ



リンゴデニッシュ  
(ベイクワン)



**和菓子部門 売上高332億70百万円** (対前年同期比 96.1%)

和菓子は、主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」やチルド製品の「北海道チーズ蒸しケーキのとろけるぷりん」が好調に推移しましたが、主力の団子、大福、まんじゅうなど和生菓子の不振もあり、売上は前年同期を下回りました。



豆大福



吹雪まんじゅう



串だんご



北海道チーズ蒸しケーキ



北海道チーズ蒸しケーキの  
とろけるぷりん

## セグメント別の状況

**洋菓子部門 売上高715億67百万円** (対前年同期比 104.1%)

14.0%

洋菓子は、高品質・高付加価値・高単価製品を計画的に投入した2個入り生ケーキが伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームが伸長し、3月に品質を向上させた「プレミアムスイーツ」シリーズが寄与しました。さらに、(株)不二家の洋菓子事業が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。



苺のショートケーキ



バスク風チーズケーキ



大きなツインシュー



エッグタルト



生クリームロール  
(プレミアムスイーツ)

**調理パン・米飯類部門 売上高699億11百万円** (対前年同期比 97.3%)

13.6%

調理パン・米飯類は、第2四半期以降、主要販路であるコンビニエンスストアチェーンとの取引が回復してまいりましたが、前年同期の売上を下回る結果となりました。



おかず  
幕の内弁当



シーチキン  
マヨネーズ



とろ〜りとしたチーズの  
ハンバーガー



こだわりソースの焼きそばパン



大きなサンド  
ミックス



**製菓・米菓・その他商品類部門 売上高814億81百万円** (対前年同期比 103.8%)

15.9%

製菓・米菓・その他商品類は、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」や(株)東ハトの「キャラメルコーン」が伸長するとともに、(株)不二家の「カントリーマアム チョコまみれ」や不二家(杭州)食品有限公司の「ポップキャンディ」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。



エアリアル



キャラメルコーン



カントリーマアム  
チョコまみれ



ポップキャンディ

**流通事業**

**売上高 260億11百万円** (対前年同期比 111.1%)

5.1%  
売上高構成比

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、日次管理・週次決算に取り組み日々の仕事の精度を高めるとともに、DY商品・運営合同小委員会を毎週開催し、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して当社グループ商品の充実と戦略商品の開発に取り組みました。直営店舗数の増加により前年同期の売上を上回りましたが、人件費等のコストが増加しました。



デイリーヤマザキ柏たなか駅前店(千葉県柏市)



マリトッツォ  
(デイリーホット)



厚切りロースカツサンド  
(デイリーホット)

当第2四半期末の店舗数

**1,404店**

(前年同期末差 30店減)

●デイリーヤマザキ

**1,051店**

(前年同期末差 19店減)

●ニューヤマザキディリーストア

**340店**

(前年同期末差 10店減)

●ヤマザキディリーストア

**13店**

(前年同期末差 1店減)

## 高級食パンのご紹介

当社では、近年お客様からの需要が高まっている高級食パンの開発にも取り組んでおります。その中から、特に原料や製法に特徴のある高級食パンをご紹介します。

### ひ 『太陽のちから』

『太陽のちから』は、北海道産小麦100%の小麦粉を使用し、深みのある甘さと生クリーム、バターのコク、小麦本来の豊かな香りとしっとりもちもちとした食感が特長の食パンです。

小麦粉の一部に、北海道立総合研究機構の北見農業試験場と北海道の小麦農家が連携して作り上げた当社専用小麦粉ブランド「太陽のちから」を使用しており、しっとりとした食感とトーストした時の香ばしさを引き出しました。

デイリーヤマザキ、ヤマザキショップなど自社業態店で取り扱っている高級食パンです。



### 『超芳醇ゴールド』

本年7月から、『超芳醇』の品質をさらに追求した高級食パンとして、『超芳醇ゴールド』を発売いたしました。

『超芳醇ゴールド』は、湯捏製法によるほんのりとした甘みともっちりとした食感の『超芳醇』の特長に加え、当社最上級小麦粉を使用することで、きめ細かくしっとりとした食感を生み出しました。

さらに、自家製発酵種ルヴァンを使用し小麦本来の風味や旨みを引き出すとともに、バター、生クリームを配合することによって、コクのある濃厚な味わいに仕上げられています。

ワンランク上の味わいをお楽しみいただける食パンです。



選べる楽しさ

## 「ランチパック」

『ランチパック』は、サンドイッチの“おいしさ”と“手軽さ”に加え、バッグに入れて携帯できる“便利さ”が特長の製品で、長年お客様からご好評をいただいております。

本年6月から、フルーティーシリーズの「いちごジャム」、「ブルーベリージャム」、「マーマレード」の3品をリニューアルいたしました。よりフルーティーな味わいになるよう、ジャムの製法、配合を見直し、高品質できめの細かいやさしい食感の食パンでジャムをサンドしました。

また、本年7月から、デイリーヤマザキ、ヤマザキショップなど自社業態店で、具材がたっぷり“大盛り”になったランチパックを発売いたしました。飽きのこないおいしさと、満足感が味わえます。

### ランチパック スペシャルサイト



ランチパックスペシャルサイトでは、新製品や人気製品、ご当地ランチパックやランチパックを使ったレシピなどさまざまな情報をご覧ください。

<http://www.yamazakipan.co.jp/lunch-p/>

## フルーティーシリーズ



フルーティーシリーズと  
お好みのフルーツで  
カラフルフルーツサンド



## 大盛りシリーズ



**ツナマヨネーズ 大盛り**  
ツナとオニオンを和えたツナサラダをたっぷりとサンドしました。



**たまご 大盛り**  
たまごフィリングをたっぷりとサンドしました。



**ピーナッツダブルクリーム 大盛り**  
粒入りピーナッツクリームとなめらかなピーナッツクリームをたっぷりとサンドしました。



**ハム&マヨネーズ 大盛り**  
厚切りのスライスハムとマヨネーズをサンドしました。

### 公益財団法人 <sup>ファイダー</sup>国際開発救援財団(FIDR)

## 国際協力活動および緊急援助活動を推進しています

当社は、国際社会からの要請に応える社会貢献への取組みの一環として、開発途上国および自然災害被災地の人々がよりよい生活ができることを願い、公益財団法人国際開発救援財団 <sup>ファイダー</sup>(FIDR) への支援を通じ、国際協力活動と緊急援助活動を推進しております。

### FIDRへの支援

FIDRは、1990年に当社創業者の故・飯島藤十郎社主が主たる基本財産を出捐して特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン (WVJ) を支援する目的で設立した民間の援助団体で、昨年4月に設立30周年を迎えました。

子どもの未来を育む「チャイルド・ケア」と「日本人と日本企業による国際協力の推進」をミッションに掲げ、開発途上国の人々の生活環境の向上と発展を目的とした国際協力援助事業と、国内外の自然災害に対する緊急援助事業を実施しております。

現在は、カンボジア、ベトナム、ネパールで、医療、保健衛生、教育、農業、栄養、収入向上などの分野において、地域に根ざした援助活動を行っています。また、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害、令和元年東日本台風による水害等、自然災害への緊急援助活動にも積極的に取り組んでいます。

当社はこれらの活動を積極的に支援しております。

### ● 子どもの栄養改善にむけた活動

国民の栄養状態が他国に比べて顕著に劣るカンボジアでは、2025年から全国の小学校、中学校、高等学校において保健科目の一環として栄養指導が開始される予定です。しかし、栄養指導の専門家がほとんどおらず、教科書の執筆や教員の指導技能の育成などが課題となっていました。

FIDRは、同国の保健省からの要請を受け、2017年から日本の学校における「食育」の経験を活かしつつ、栄養単元のカリキュラムづくり、教科書の執筆、教材開発、教員の指導技能の育成を進めております。また、全国に栄養教育を普及させるためのモデルとなる小中学校4校を選定し、教員研修や教材を使った試験的な栄養教育を始めております。



手作り教材で食品と栄養について学ぶ子どもたち（カンボジア）

## ● 少数民族の人々の地域活性化支援活動

FIDRは、経済発展が進むベトナムで、貧困状況に取り残されてきた山岳少数民族地域の発展を、20年にわたり支援してまいりました。

中部クアンナム省ナムザン郡では、生活環境や食料不足を改善したのち、地域の文化や自然資源を継続的な収入に結び付けるために、伝統織物の商品化、少数民族の生活文化を体験できる観光ツアーの実施、農産物の販売や加工商品の開発を支援してきました。これにより少数民族の人々が自主的に産業を興し、持続的に収益をあげられるようになりました。



伝統織物を織る女性たち（ベトナム）

### FIDRホームページのご案内

FIDRの援助活動は、FIDRの法人賛助会員、個人賛助会員など多くの方々のご支援を受けて実施しております。FIDRの活動の詳細、支援方法などにつきましては、下記のホームページで紹介しておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.fidr.or.jp/>

## ● 大雨・台風被害への緊急援助活動

ネパールのラメチャップ郡では、昨年7月に大雨による土砂崩れと洪水により、多数の家屋が倒壊しました。2018年に建設支援をした2階建て鉄筋コンクリート造りの校舎は避難所として大いに役立ちました。FIDRは、早急な仮設住宅設置のための資材のほか、米、石鹼を、家屋が全半壊の被害にあった67世帯に支援しました。

また、昨年10月から11月にかけて、ベトナム中部を7個の台風が襲い、洪水、土砂崩れ、家屋流失など、甚大な被害が発生しました。FIDRは、台風被害から数か月を経ても行政や他の援助機関からの支援が届いていないクアンナム省、コントゥム省の約4,800世帯に対して、もち米や毛布、鍋などを支援しました。

物資配布の際には、新型コロナウイルス感染防止のため、従事者全員へのマスクの配布やアルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保などを徹底しました。



建築資材や生活物資を支援（ネパール）

### ヤマザキ「ラブ・ローフ」募金への協力

当社は、FIDRとWVJが共催・実施しているヤマザキ「ラブ・ローフ」募金に協賛し、約3,600の販売店に募金箱を設置しております。これまでの募金はFIDRとWVJを通じて、アフリカやアジアの開発途上国での援助活動などに役立てられております。



## 貸借対照表のポイント

### 流動資産

現金及び預金が新規借入金等もあり358億32百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が275億85百万円減少したことなどにより、流動資産合計で72億43百万円増加し、2,634億98百万円となりました。

### 有形・無形固定資産

有形固定資産は、生産能力の増強や品質向上のための生産設備の更新等を実施しましたが、償却が進んだこともあり22億42百万円の減少、また無形固定資産はのれんの償却などにより5億24百万円減少し、有形・無形固定資産合計は3,342億87百万円となりました。当第2四半期の設備投資額は、156億18百万円、減価償却実施額は177億53百万円であります。

### 投資その他の資産

敷金等の返還などにより8億28百万円減少し、1,203億5百万円となりました。

### 負債合計

新規借入金の増加などにより負債合計は81億35百万円増加し、3,601億95百万円となりました。

### 純資産合計

自己株式を取得したことなどにより純資産合計は44億88百万円減少し、3,578億95百万円となりました。

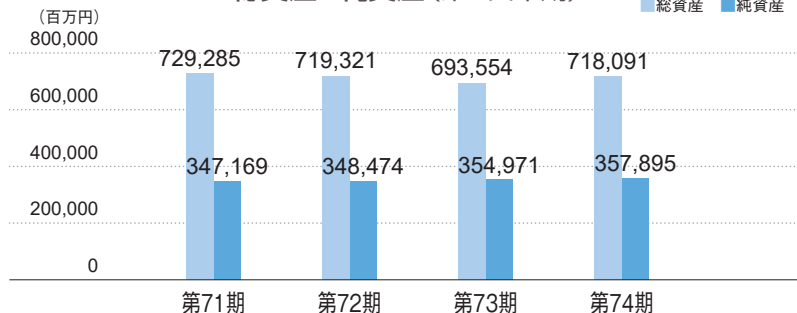
## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

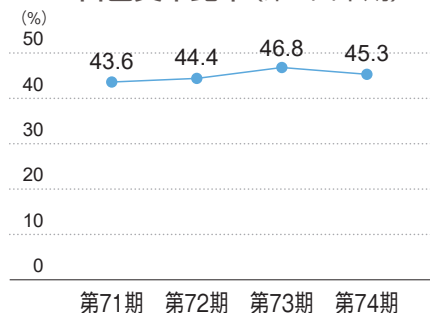
科目	当第2四半期末 2021年6月30日現在	前期末 2020年12月31日現在	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	263,498	256,255	7,243
固定資産	454,592	458,188	△3,596
有形固定資産	313,329	315,572	△2,242
無形固定資産	20,957	21,481	△524
投資その他の資産	120,305	121,134	△828
<b>資産合計</b>	<b>718,091</b>	<b>714,443</b>	<b>3,647</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	207,940	216,962	△9,021
固定負債	152,254	135,098	17,156
<b>負債合計</b>	<b>360,195</b>	<b>352,060</b>	<b>8,135</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	307,537	314,684	△7,146
資本金	11,014	11,014	-
資本剰余金	9,635	9,660	△25
利益剰余金	301,705	299,251	2,454
自己株式	△14,817	△5,241	△9,575
その他の包括利益累計額	17,946	15,802	2,144
非支配株主持分	32,410	31,896	513
<b>純資産合計</b>	<b>357,895</b>	<b>362,383</b>	<b>△4,488</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>718,091</b>	<b>714,443</b>	<b>3,647</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 総資産・純資産(第2四半期)



## 自己資本比率(第2四半期)



## 損益計算書のポイント

### 売上高

単体の菓子パンや、子会社の(株)不二家、(株)東ハト等が順調に売上を伸ばし、前年同期に比べ0.9%の増収となりました。

### 営業利益

人件費等の増加はありましたが、売上原価率が前年同期を0.3%下回り、また販売費及び一般管理費が物流費、旅費等の減少により0.2%下回ったこともあり、前年同期に比べ23.9%の増益となりました。

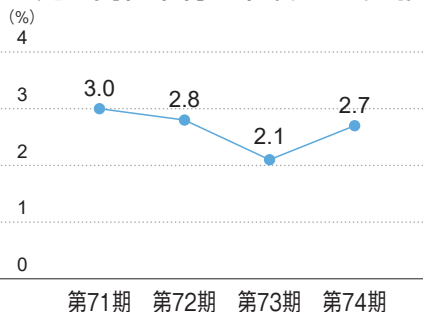
### 経常利益

前年同期に比べ26.1%の増益で、売上高経常利益率は2.7%となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入などあり、前年同期に比べ47.7%の増益となりました。

## 売上高経常利益率(第2四半期)



## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	前第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	増減
売上高	512,210	507,826	4,384
売上原価	331,078	329,607	1,471
売上総利益	181,131	178,218	2,913
販売費及び一般管理費	168,907	168,349	558
営業利益	12,223	9,868	2,355
営業外収益	2,324	1,807	517
営業外費用	795	773	22
経常利益	13,753	10,902	2,850
特別利益	972	109	863
特別損失	1,222	1,174	48
税金等調整前四半期純利益	13,503	9,837	3,665
法人税等合計	5,554	4,851	702
四半期純利益	7,949	4,986	2,962
非支配株主に帰属する四半期純利益	712	86	625
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,237	4,899	2,337

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	前第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,486	38,324	10,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,549	△19,181	632
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,975	△9,204	15,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	225	△3	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,138	9,935	26,203
現金及び現金同等物の期首残高	102,842	105,916	△3,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	138,981	115,851	23,129

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2021年6月30日現在	前期末 2020年12月31日現在	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	158,024	147,421	10,602
固定資産	385,923	387,089	△1,165
有形固定資産	206,463	208,922	△2,458
無形固定資産	5,705	5,416	289
投資その他の資産	173,754	172,750	1,003
資産合計	543,948	534,510	9,437
<b>負債の部</b>			
流動負債	137,960	142,577	△4,616
固定負債	108,055	88,143	19,911
負債合計	246,016	230,721	15,294
<b>純資産の部</b>			
株主資本	272,948	279,027	△6,079
資本金	11,014	11,014	-
資本剰余金	9,676	9,676	0
利益剰余金	267,075	263,578	3,496
自己株式	△14,817	△5,241	△9,575
評価・換算差額等	24,983	24,761	221
純資産合計	297,931	303,789	△5,857
負債純資産合計	543,948	534,510	9,437

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 四半期損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	前第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで	増減
売上高	372,531	367,820	4,711
売上原価	249,838	246,271	3,566
売上総利益	122,693	121,548	1,144
販売費及び一般管理費	112,180	111,093	1,086
営業利益	10,513	10,454	58
営業外収益	2,721	2,403	317
営業外費用	651	655	△3
経常利益	12,582	12,203	379
特別利益	105	67	37
特別損失	664	727	△62
税引前四半期純利益	12,024	11,543	480
法人税等合計	3,745	3,651	94
四半期純利益	8,278	7,892	386

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



# YAMAZAKI インフォメーション

## ヤマザキ「秋のわくわくプレゼント」

2021年9月1日（水）から11月15日（月）までの期間中、ヤマザキ「秋のわくわくプレゼント」キャンペーンを実施いたします。

対象製品についている点数券を集めてご応募いただくと、毎週抽選で総計40,000名様に素敵な賞品をプレゼントいたします。

詳しくは対象製品のパッケージまたは当社ホームページをご覧ください。

**Aコース** ヤマザキグループのお菓子のびっくり箱

**Bコース** Vitantonio ホットサンドベーカー

2021  
秋のわくわくプレゼント

ヤマザキグループのお菓子のびっくり箱  
合計 **35,000** 名様に  
4 点応募

ヤマザキ  
毎週抽選で総計  
**40,000** 名様に  
当たる!

キャンペーン期間  
9/1~11/15 応募期限:11月20日(土) 当日消印有効

Vitantonio  
ホットサンドベーカー  
合計 **5,000** 名様に  
10 点応募

3種類のプレート付き

- マルチサンドプレート
- ワッフルプレート
- ホットサンドプレート

## 株主優待情報

株主様の日頃のご支援にお応えするため、毎年12月31日現在の株主様（ご所有株式数1,000株以上）に対し、市価3,000円相当の自社製品の詰合せを毎年4月にお届けいたします。



写真は本年4月にお届けしたものです。

株主優待制度は、当社株式1,000株(単元株式数100株×10単元)以上を所有されている株主様を対象といたします。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、投資家の皆様向けの「決算・IR情報」をはじめ、製品情報やおすすめのレシピなど、さまざまな情報を公開しています。



<http://www.yamazakipan.co.jp/>

## 株式の状況

発行可能株式総数	800,000,000株
発行済株式総数	220,282,860株
株主総数	23,583名 (前期末比4,035名増)

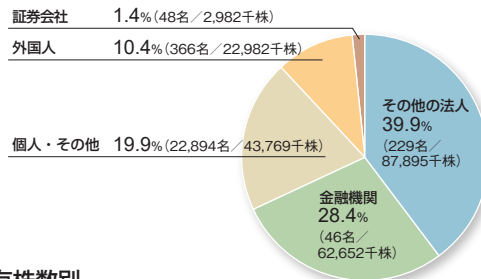
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
飯島興産株式会社	18,777,895	8.8
公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	12,500,000	5.8
株式会社日清製粉グループ本社	11,062,343	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,673,200	5.0
三菱商事株式会社	9,849,655	4.6
丸紅株式会社	8,165,880	3.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,291,400	3.4
住友商事株式会社	7,232,800	3.3
明治安田生命保険相互会社	6,501,500	3.0
株式会社みずほ銀行	3,946,419	1.8
株式会社三井住友銀行	3,946,419	1.8

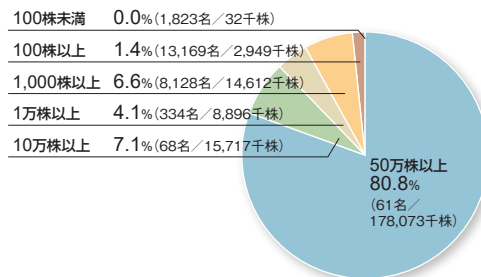
(注) 1. 当社は、自己株式を7,447,132株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して算出してあります。

## 株式分布状況

### ●所有者別



### ●所有株数別



## 役員

代表取締役社長	飯島 延浩	取締役	吉田谷良一
取締役副社長	飯島佐知彦	取締役	山田 裕樹
取締役副社長	飯島 幹雄	取締役	荒川 弘
専務取締役	横濱 通雄	取締役	島田 秀男 (社外取締役)
専務取締役	会田 正久	取締役	畑江 敬子 (社外取締役)
専務取締役	犬塚 勇	常勤監査役	大本 一弘
専務取締役	関根 治	常勤監査役	松田 道弘 (社外監査役)
専務取締役	深澤 忠史	常勤監査役	佐藤 健司
常務取締役	園田 誠	監査役	齋藤 昌男 (社外監査役)
取締役	荘司 芳和	監査役	馬場久萬男 (社外監査役)

## 従業員

連結	30,191名 (男性22,568名、女性7,623名)
当社	20,485名 (男性16,084名、女性4,401名)

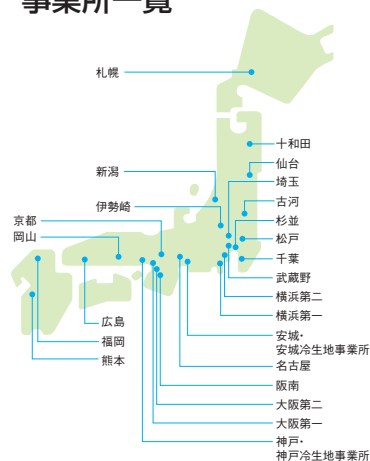


## 重要な子会社

会社名	資本金(百万円)	当社の議決権比率(%)	主要な事業内容
株式会社不二家	18,280	54.4	洋菓子、チョコレート、キャンディ、クッキー等の製造及び販売
株式会社サンデリカ	2,000	100.0	調理パン、米飯類等の製造及び販売
ヤマザキビスケット株式会社	1,600	80.0	ビスケット、スナック等の製造及び販売
株式会社東ハト	2,168	95.4	ビスケット、スナック等の製造及び販売
株式会社ヴィ・ド・フランス	480	100.0	ベーカリーカフェの経営
株式会社イケダパン	1,250	80.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造及び販売
大徳食品株式会社	100	100.0	麺類の製造及び販売
株式会社ヴィ・ディー・エフ・サンロイヤル	236	100.0	パン用冷凍生地等の製造及び販売並びにインスタベーカリーの経営
株式会社スリーエスフーズ	480	100.0	パンの製造及び販売
株式会社サンキムラヤ	100	100.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造及び販売
株式会社高知ヤマザキ	100	100.0	パン、和・洋菓子等の製造及び販売
ヴィ・ド・フランス・ヤマザキ,Inc. (米国)	5,000千US\$	100.0	ベーカリー製品の製造及び販売並びにベーカリーカフェの経営
株式会社末広製菓	100	100.0	米菓、調理パン、米飯類等の製造及び販売
株式会社ヤマザキ物流	300	100.0	物流事業
株式会社サンロジスティックス	380	100.0	物流事業
株式会社ヤマザキエンジニアリング	80	100.0	食品製造設備の設計、監理及び工事の請負

- (注) 1. 当社は、2021年2月22日付で(株)不二家の普通株式72,900株を追加取得し、議決権比率は54.4%となりました。  
 2. 大徳食品(株)は、(株)サンデリカ全額出資の子会社であり、当社の議決権比率は間接所有割合であります。  
 3. (株)サンロジスティックスは、当社と(株)ヤマザキ物流がそれぞれ50%ずつ出資しており、当社の議決権比率は間接所有を含む割合であります。  
 4. 連結子会社は、上記重要な子会社16社を含む30社であります。

## 事業所一覧



<b>本社</b>	東京都千代田区岩本町3-10-1	<b>大阪第一工場</b>	大阪府吹田市幸町29-1
<b>松戸工場</b>	千葉県松戸市南花島向町319	<b>神戸工場</b>	兵庫県神戸市西区高塚台6-19-1
<b>千葉工場</b>	千葉県千葉市美浜区新港22	<b>大阪第二工場</b>	大阪府松原市三宅東2-1835-5
<b>武蔵野工場</b>	東京都東久留米市柳窪2-5-14	<b>阪南工場</b>	大阪府羽曳野市広瀬161
<b>埼玉工場</b>	埼玉県所沢市坂之下85	<b>京都工場</b>	京都府宇治市榎島町目川100
<b>杉並工場</b>	東京都杉並区高井戸西3-2-30	<b>名古屋工場</b>	愛知県名古屋市区西玉池町36
<b>横浜第一工場</b>	神奈川県横浜市戸塚区上柏尾町15	<b>安城工場</b>	愛知県安城市二本木新町2-1-3
<b>横浜第二工場</b>	神奈川県横浜市都筑区東方町188	<b>岡山工場</b>	岡山県総社市井尻野800
<b>古河工場</b>	茨城県古河市丘里7	<b>広島工場</b>	広島県広島市安佐北区大林2-3-1
<b>伊勢崎工場</b>	群馬県伊勢崎市粕川町1801	<b>福岡工場</b>	福岡県古賀市古賀69
<b>仙台工場</b>	宮城県柴田郡柴田町槻木白幡2-9-1	<b>熊本工場</b>	熊本県宇城市松橋町浦川内2388
<b>新潟工場</b>	新潟県新潟市江南区二本木4-12-8	<b>安城冷生地事業所</b>	愛知県安城市二本木新町2-1-3
<b>十和田工場</b>	青森県十和田市稲生町1-13	<b>神戸冷生地事業所</b>	兵庫県神戸市西区高塚台6-19-1
<b>札幌工場</b>	北海道恵庭市恵南10-1	<b>海外駐在員事務所</b>	米国、パリ、台北、上海、ジャカルタ、ホーチミン

# 株主メモ

---

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当の基準日	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告によるものとし、当社のホームページ ( <a href="http://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/">http://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/</a> ) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株式の上場	東京証券取引所市場第1部

---

## 株式に関する手続き

- 株式に関する各種手続き(住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問い合わせください。

- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていない株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種手続き(証券会社の口座への振替(※)、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、三井住友信託銀行にてお取扱いいたします。

(※)証券会社の口座への振替について

特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えてください。

・証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設をしてください。

・単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、特別口座のまま行うことができます。

特別口座に関する各種手続きに必要な用紙のご請求は、上記のフリーダイヤルまたは下記のホームページで受付しております。

◎ ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にてお取扱いいたします。